

名古屋市立西部医療センター 地域医療連携 NEWS

西部医療センター 基本理念

患者さんと職員の笑顔がみられる病院



◆目次◆

西部医療センター病院長 年始のご挨拶	1
地域医療連携推進医/女性腫瘍センター長 ご挨拶	1
地域医療連携室 ご挨拶	1
周産期医療センター ご紹介	2
消化器外科 ご紹介	3
登録医（大隈病院）ご紹介 / TOPICS	4
歯科口腔外科 NEWS	別紙
病院名称変更のお知らせ	別紙
MRI検査について	別紙
診療科外来担当医のご案内	別紙



2021

1月号



西部医療センター病院長 年始のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。
新型コロナウイルス感染症の影響で、困難な日々が続いていますが、“こんな時もあった”と思い返せる日が来ることを願っています。
当院は今年 10 年を迎えますが、この 4 月に、名古屋市立大学医学部附属病院 西部医療センターとして、新たな道を歩むことになりました。皆様に信頼され、地域医療に貢献できるように、さらに精進していきたいと思います。これからも、何卒、よろしくお願いいたします。



病院長
地域医療連携室室長
栗原 義之

地域医療連携推進担当医／女性腫瘍センター長 ご挨拶



女性腫瘍センター長
産婦人科部長
荒川 敦志

地域医療連携を担当しております産婦人科の荒川敦志です。平素より地域医療連携にご協力いただき、多くの患者様を紹介していただきありがとうございます。当院では以前より他科からの協力を得て周産期医療を中心として診療に努めてきました。これからも周産期医療はもちろんのこと、婦人科腫瘍や不育症の分野にも今まで以上に力を注ぎ、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう努力していきます。また逆紹介をさせて頂く際にはよろしくお願いいたします。

地域医療連携室 ご挨拶



明けましておめでとうございます。
昨年は“病診連携システム”をご活用頂きありがとうございました。今後も地域の皆さまとの連携を大切に、より円滑な運営に努めてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室 一同



地域医療連携室主幹
上妻 由紀江



地域医療連携室主査
小谷 純子

周産期医療センター ご紹介



周産期医療
センター長
西川 尚実

いつも大変お世話になっております。

当院は、常勤産婦人科医師 11 名と病棟・外来助産師 44 名でハイリスクから正常まで年間 1,200 件超の分娩を取り扱っております。治療が必要なお子さんは NICU・GCU でみさせていただいています。周産期医療・産婦人科全般について、どんなことでもお気軽にご相談ください。

今回は、コロナ禍での当院の対応をご紹介させていただきます。また、セミオープンシステム「周産期 save（セイブ）ネットワーク」も開設致しましたので是非ご利用ください。今後ともよろしくお願い致します。

LDR



♡ 感染対策をしっかりとって旦那さんの分娩立会を継続しています。

♡ コロナ感染が否定できない方の分娩（帝王切開）対応として、陰圧分娩室・緊急分娩室を準備しています。

♡ 分娩準備クラス・おっぱいクラスをホームページと ZOOM で開催しています。

♡ 《マザークラス》 ♡

- ・ ヨーガはじめて&マタニティヨーガ
- ・ 分娩準備クラス
- ・ 栄養クラス
- ・ パパママクラス

- ・ プレママクラス
- ・ 帝王切開クラス
- ・ おっぱいクラス
- ・ おしゃべりクラスカンガルー（産後）



♡ 《セミオープンシステム「周産期 save（セイブ）ネットワーク」》 ♡

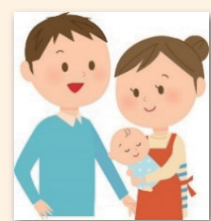
日頃の妊婦健診
かかりつけ医さん



分娩・緊急時対応
西部医療センター



かかりつけ医さん



♡ 里帰りなど遠方でも急いで移動しなくてもよいように WEB での分娩予約を開始しました！

※詳しくは…

西部医療センターHP

検索

消化器外科 ご紹介



当科では内科・放射線科等と連携を図り消化管や肝胆膵における**すべての悪性腫瘍切除術**や、ヘルニア・胆石・食道アカラシア・逆流性食道炎・炎症性腸疾患・慢性膵炎手術等の**良性疾患**に対する治療も積極的に行っております。手術の多くは**腹腔鏡下**に行っていますが、今後はロボット支援手術も進めてまいります。また、**緩和医療**にも注力し、切除不能癌による腸閉塞にはバイパス術や人工肛門造設を、経口摂取困難な方には中心静脈ポート留置術など予後等をふまえ患者様・ご家族と相談し最適な治療を選択しております。今年4月からは名古屋市立大学医学部付属病院として、これまで以上に大学病院とも連携し、より高難度な手術にも挑んでいきます。

当科は **24 時間 365 日体制**で紹介患者様をお受けいたしております。
手術の必要性にかかわらず当院での治療が必要な場合はいつでもご連絡ください。



消化器腫瘍センター長
第一消化器外科部長
中央手術部長
三井 章

平素は当院との地域医療連携にご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
平成23年に開院し、消化器外科では開院以来のメンバーは栗原院長と私のみとなりました。
定期的な医師の交代はありますが常に消化器外科チームが一丸となり**地域医療に貢献**していきます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。



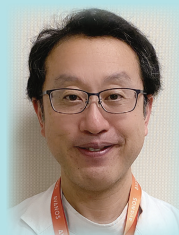
安藤医師

栗原病院長

加古医師
内山医師

主には**上部消化管**を担当しています。腹腔鏡手術の進歩は目覚ましく、当院の上部消化管手術でも腹腔鏡手術の割合が高くなっています。

周術期感染対策や
手術部位感染の
サーベイランスも
担当しています。



第二消化器外科部長 若杉 健弘

大腸肛門疾患を主に担当しています。大腸癌治療を専門とし、低侵襲手術としての腹腔鏡手術、ロボット支援手術、進行大腸癌に対する多臓器合併切除術や骨盤内蔵全摘術、再発時の化学療法など幅広く対応しております。
下血や便潜血陽性、便通異常などご紹介いただくと幸甚です。

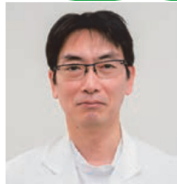


第一消化器外科副部長 原 賢康

肝胆膵外科を中心に診療しています。入念な準備・過不足ない手術・安心安全な術後管理をモットーに、患者様に寄り添った最適な治療を提供するよう心がけています。
地域の多くの皆様に安心して治療を受けて頂けるよう努めてまいります。



第一消化器外科副部長 社本 智也



理事長
真砂 敦夫



おおくまびょういん

社会医療法人 大真会 大隈病院

当院は名古屋市北区大曾根に昭和 51 年に開設しました。「地域の皆様に信頼され愛される病院を目指し、最善の医療を行う」を病院理念としています。平成 27 年の増改築に伴って病棟を再編成し、一般急性期 81 床、地域包括ケア病棟 76 床のケアミックス病院となりました。平成 31 年 4 月には社会医療法人化し、地域に根ざした病院運営を心がけています。2 次救急病院としての役割はもちろんのこと、ポストアキュート・サブアキュートの受け皿、施設・在宅医療との橋渡し、私どもが得意とする分野です。西部医療センターさんをはじめ高次医療機関から病状安定後の患者様のご紹介をいただいています。

当院は、とくに脳・脊髄脊椎疾患の診療に力を入れています。脳卒中では、急性期から多職種で治療に取り組み、社会復帰支援を行います。リハビリスタッフのモチベーションは高く、ボトックス治療を取り入れた短期集中リハビリ入院も開始しました。平成 28 年からはガンマナイフが稼動し、地域中核病院との連携が深まりました。おかげさまで年間約 300 症例の治療実績となりました。また当院では、脊髄刺激療法や脳深部刺激療法といった機能的脳外科手術にも対応しています。

これからの超高齢化社会を見据えて、当院の内科・外科医師は、総合診療科的な対応を心がけて下さいます。在宅医と連携をとり、検査・レスパイト入院、胃瘻造設や CV ポート作成の相談も可能です。当院整形外科においても、外傷骨折・変形性関節症等の手術治療を応需しており、地域住民の方々の期待に添えるよう励んでいます。医師、看護・パラメディカル・MSW 一丸となって地域医療に貢献していく所存です。



社会医療法人 大真会 大隈病院

所在地：名古屋市北区大曾根 2 丁目 9 番 34 号
電話：052-991-2111 Fax：052-991-2113
受付時間：8:30~11:00 (初診) 8:00~11:30 (再診)
診療時間：9:00~11:30 ※救急受診希望の方はお電話でご相談下さい
病棟：157 床 (一般 81 床、地域包括ケア 76 床)
診療科目：脳神経外科、脳神経内科、内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科
URL：https://www.ookuma-hospital.or.jp/

TOPICS

※「登録医 ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携室までご連絡ください。

《接遇向上委員会》

日頃より患者さまのご紹介ありがとうございます。当院では地域の皆さまに選ばれる病院作りの一環として、職員の接遇教育や身だしなみチェック、院内の美化活動などに取り組んでおります。

接遇に関するご意見・ご要望など忌憚なきお言葉を頂けると幸いに存じます。

接遇向上委員会委員長
看護部長 山本 あゆみ



《名古屋市立 西部医療センター》

〒462-8508 名古屋市北区平手町 1 丁目 1 番地の 1
TEL：052-991-8121 (代表)
FAX：052-856-0049 (地域医療連携室)

地域医療連携 NEWS (2021.1月号)

発行：地域医療連携 NEWS 編集委員会
委員長：栗原 義之
編集人：上妻 由紀江・小谷 純子



—2021 年を迎えて—

あけましておめでとうございます。

2020 年はコロナ禍に明け暮れ、気付いてみれば新たな年を迎えておりました。第三波はそれ以前の状況よりもはるかに拡大し、医療環境を圧迫してきております。ただ、コロナの影響によって社会のあり方、生活、家族そして医療を見つめ直すきっかけにもなり、悪いことばかりでもなかったのでしょうか。とは言え、今年中にはコロナ禍の先が見えることを願うばかりです。

当センターは今年 4 月から名称が「**名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター**」と改まります。名称が変わりましても、地域に根差した医療提供は変わりません。名古屋市立大学医学部との連携によって、今まで以上に医療サービスの向上ができればと思っておりますので、引き続きのご支援を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

歯科・口腔外科部長 深野 英夫

<10・11 月の急患対応（初診の急患対応）>

●10 月の要請件数は 11 件（2 件は休日）でした。
外傷が 7 件でその内 3 件は幼児でした。残り 4 件は、舌の異常感、抜歯窩の治癒不全、歯周炎が 2 件でした。
●11 月は 5 件の要請（1 件は時間外）がありました。
外傷が 3 件（高齢者 2 件・幼児 1 件）、化膿性炎症 1 件、歯痛（智歯）が 1 件でした。
これら 16 件は比較的軽症でありましたので、入院加療を要することはなく、外来で縫合処置、切開排膿処置など個々に対応いたしました。



高齢者や小児の転倒などによる顔面外傷が、例年よりも増加している印象があります。コロナによる stay-home が少なからず影響していると思われ、今後もこの傾向が続くのではないかと予想しています。

顎顔面領域に外傷が限局していれば、当科で可及的に対応を致します。

お電話でご相談を頂ければ、その都度対応致します。

（時間内：歯科口腔外科外来 時間外：待機当番口腔外科医）

TEL 052-991-8121（代表）

《お知らせ》

周術期口腔機能管理セミナーは、第 8 回の『前立腺疾患について』の講演以後は、コロナ感染拡大によって、昨年 7 月の講演会を含め開催を見合わせておりました。ようやく、ハイブリッドでの開催が可能な環境が整ってきましたので、再開を検討しております。開催の目処が立ちましたら、この誌面でもご案内を致します。

—名古屋市立西部医療センター大学法人化のお知らせ—

当院は、令和 3 年 4 月 1 日付で大学法人化し、名称を

名古屋市立 西部医療センターから

**「名古屋市立大学医学部附属
西部医療センター」**に

変更致します。

※電話番号・FAX 番号、患者さまのご紹介方法、
検査のお申込み方法等は変更ございません。

※施設登録番号・外来診療担当医など、詳細については
改めてご連絡させていただきます。

今後ともよろしくお願い致します。

名古屋市立西部医療センター

地域医療連携室

052-991-8145（直通）